

平成29年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,429	10,432	3	
施設整備費補助金	88	88	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,103	1,115	12	(注1)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	31	31	—	
自己収入	24,154	25,361	1,207	
授業料、入学金及び検定料収入	4,191	4,138	△ 53	(注2)
附属病院収入	19,660	20,897	1,237	(注3)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	303	326	23	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,885	3,916	2,031	(注5)
引当金取崩	368	369	1	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	55	55	(注6)
計	38,058	41,367	3,309	
支出				
業務費	33,393	33,625	232	
教育研究経費	15,243	14,950	△ 293	(注7)
診療経費	18,150	18,675	525	(注8)
施設整備費	119	119	—	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,103	1,115	12	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,885	2,399	514	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1,558	1,543	△ 15	(注11)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	38,058	38,801	743	
収入－支出	—	2,566	2,566	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、当初予定していなかった国等からの補助金の増により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者が減少したこと、休退学者が見込みより増加したこと、次年度の大学院入学者が減少したことなどにより、予算額に比して決算額が53百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、手術件数の増、入院管理料等の上位項目算定及び高額薬剤の使用増などにより、診療報酬請求額が増加したため、予算額に比して決算額が1,237百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、当初予定していなかった保険金収入により、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が2,031百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、教育研究等に係る環境整備を行ったことにより、予算額に比して決算額が55百万円多額となっています。
- (注7) 業務費（教育研究経費）については、経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が293百万円少額となっています。
- (注8) 業務費（診療経費）については、手術件数の増や高額薬剤の使用増に伴う医薬品費及び診療材料費の増により、予算額に比して決算額が525百万円多額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が514百万円多額となっています。
- (注11) 長期借入金償還金については、借入金利率が見直されたことにより、予算額に比して決算額が15百万円少額となっています。